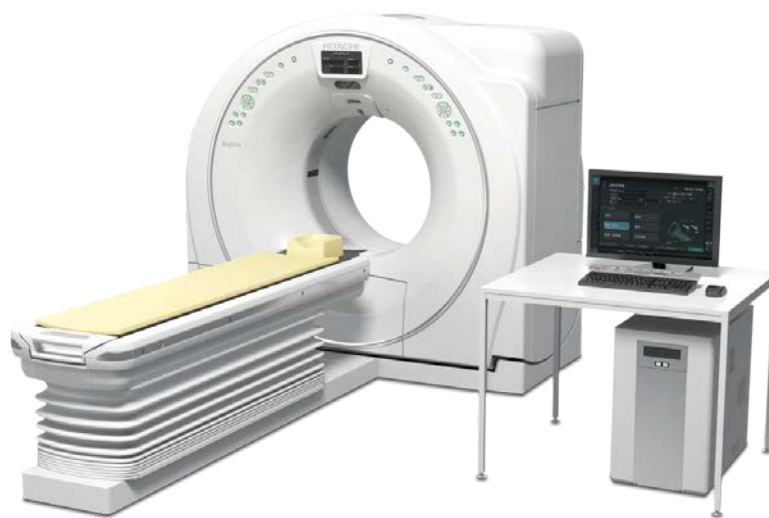


2015年11月24日
株式会社日立メディコ

マルチスライス CT 装置をリニューアル
スプリア グランデ アドバンス スプリア アドバンス
「Supria Grande Advance」と「Supria Advance」を発売
コストパフォーマンスをさらに高めたコンパクト型 CT の新シリーズ



装置外観

株式会社日立メディコ(取締役社長:山本章雄/以下、当社)は、オープン&コンパクトなデザイン、高画質かつ高い操作性で好評いただいている「Supria」シリーズの特長はそのままに、さらにコストパフォーマンスに優れたコンパクト型 CT 装置「Supria^{*1} Grande^{*1*2} Advance^{*3}」と「Supria Advance^{*4}」を本日より発売します。

1. 開発の背景

日本において超高齢社会は目前に迫りつつあり、地域医療を支える中小病院・クリニックの役割が重要になっています。また、医療費抑制が社会問題となっているなか、経営効率の高い医療機器へのニーズが高まっています。

このようなニーズに応えるため、当社は、オープン&コンパクトのコンセプトで開発された新スタンダード CT として、16列 CT 装置「Supria」を2013年8月に販売開始しました。また、同じコンパクトサイズのスキャナガントリの中に64列検出器を搭載し、64列 CT 装置「Supria Grande」を2015年1月に販売開始しました。それらの製品コンセプトが広く受け入れられ、これまで「Supria」シリーズとして500台^{*5}を超える国内出荷を達成しました。

このたび、当社は、より経営効率の高い CT 装置を重視する病院・クリニックに向けて、コンパクトなスキャナガントリ、全身高精細撮影など「Supria」シリーズの特長はそのままに、さらにコストパフォーマンスに優れた「Supria Grande Advance」と「Supria Advance」の販売を開始します。

2. 「Supria Grande Advance」「Supria Advance」の特長

(1) コストパフォーマンスに優れた高効率 X 線高電圧装置

「Supria Grande Advance」は、コストパフォーマンスに優れた高効率な X 線高電圧装置を採用しました。直流電源装置に高効率コンバータを採用することで、病院に必要な電源設備容量を 50kVA に抑えました。

これにより、既存のシングル CT や 4 列 CT 装置からの更新時に、検査室の改修工事、電源工事の負担を抑えることができ、また、ランニングコストも低く抑えることができます。

(2) 検査室スペースを有効活用するコンパクトサイズ

①「Supria Grande Advance」

2015 年 1 月発売の「Supria Grande」は、当社 16 列 CT 装置「Supria」と同一サイズのガントリ内に 64 列検出器を搭載することで、75cm の大開口径でありながら幅 2m・高さ 1.85m を下回る小型化を実現しました。当社従来 64 列 CT 装置と比較しても、ガントリ幅を約 15%、高さを約 10%サイズダウンさせました。

また、「Supria Grande」は、当社従来 64 列 CT 装置よりユニットが 1 つ少ない 3 ユニット構成*6(スキャナガントリ、寝台、操作卓)で、従来シングルスライス CT 装置相当の 12 m²の CT 検査室にも設置可能です。さらに、このたび発売する「Supria Grande Advance」は、12 m²を下回る非常に狭い CT 検査室にも設置できるよう、寝台の撮影範囲を変更することを可能にしました。これにより、検査室の拡張が難しい場合に、選択肢の一つとしてご検討いただけます。

②「Supria Advance」

16 列 CT 装置「Supria」は、その特長であるコンパクト設計と 3 ユニット構成*6(スキャナガントリ、寝台、操作卓)で、12 m²の CT 検査室に設置可能でした。

「Supria Grande Advance」と同様、「Supria Advance」も 12 m²を下回る非常に狭い CT 検査室を考慮して、標準寝台の撮影範囲を変更することが可能です。

(3) 高齢者を意識した全身高精細撮影

CT 検査では、精度の高い 1mm 未満のスライス厚で全身高速撮影ができること、そして被検者が高齢者の場合、息止め時間を考慮すると 10 秒以内で胸腹部領域の撮影ができることが求められます。

「Supria Grande」「Supria Grande Advance」は、0.625mm×64 列=40mm 幅の検出器を搭載しているため、全身どの部位でも 0.625mm の高精細スライス厚で撮影が可能です。さらに、日立独自の 3 次元画像再構成アルゴリズム CORE 法により、高速撮影を実現しました。このため、胸部 320mm を 4.5 秒、胸腹部 570mm を 7.5 秒の息止め時間で撮影可能です。

- *1 :Supria、Supria Grande は、株式会社日立メディコの登録商標です。
- *2 :Supria Grande は、Supria の 64 列検出器搭載モデルの呼称です。
- *3 :Supria Grande Advance は、Supria の 64 列検出器かつ 3.5MHU の X 線管装置を搭載したモデルの呼称です。
- *4 :Supria Advance は、Supria の 16 列検出器を搭載したモデルの呼称です。
- *5 :2015 年 11 月現在当社調べ。
- *6 :電源電圧が 200VAC の場合です。

3. 販 売 名: 全身用 X 線 CT 診断装置 Supria

(医療機器認証番号:225ABBZX00127000)

4. 定価(標準構成): Supria Grande Advance 9 億 7 千万円 (システム構成により価格は異なります)

Supria Advance 7 億円 (システム構成により価格は異なります)

■照会先

株式会社日立メディコ マーケティング統括本部 CT 製品企画グループ [担当:萩原]

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階

電話 03-3526-8305

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
